

静岡新聞 2026年2月11日付

## 論壇

東京大名誉教授(国際経済学)

伊藤 元重

米国の株式市場でアンソロピック・ショックが話題になっている。アンソロピック社は新興の人工知能(AI)の会社で、同社が発表したCo-work(コワーク)という新技術がソフトウェア市場の株価を大きく下落させているのだ。アドビやセールスフォースなどの株価が大きく下がっている。

こうした動きの背景には、このアンソロピック社のAIのツールが、既存の業務ソフトや情報サービスに代替されていくという見方がある。コワークは、プログラマーではない普通の職員が話し言葉で指示をすると、データの分析や資料作成をAIが行ってくれるというものだ。実際にソフトウェア会社の業績が足元で低下しているわけではない。ただ、株式市場は先の動

# アンソロピック・ショック

きを予想し、ソフトウェア会社の株式に悲観的な見通しを出し始めているのだ。

AIが私たちの働き方を大きく変えることになるだろうとは以前から言われてきたことだ。ただ、ここに来てその動きが顕著な形になっており、私たちの職場を大きく変えようとしている。どの職場でもさまざまなソフトウェアを利用した資料作成やデータ分析の作業が行われているが、そうした作業のかなりの部分をAIが代替してくれる。最近、プログラミング人材の多くを削減する米国の大手テック会社やコンサルティング企業などの動きも気になる。

人間の仕事を情報技術(IT)が代替していき、人間の仕事は次第に奪われていくだろう、ということは10年以上も前からよく言われていた。ただ、チャットGTPなどの大規模言語モデルと呼ばれるAIモデルが世に出てから、変化のスピードが速くなったように思える。大規模言語モデルとは、大量のテキストデータを学習して、人間のよう

に文章を理解・生成できる人工知能モデルのことだ。この大規模言語モデルの発展のおかげで、プログラミングなどの能力がなくてもAIの能力

を活用できるようになったのだ。世の中の変化のスピードが速くなっていると感じられるのは、AIを利用した雇用の変化やビジネスの変化が目に見えるようになったからだ。AI雇用元年という言葉の方を耳にすることも増えた。もっとも、どの年が元年かよく分からないが、AIによって仕事のやり方や雇用の現場が大きく変わることは間違いない。その変化のスピードも加速化している。私たちはどうしたらよいのだろうか。雇用の現場が変わることは間違いないが、そうした中で多くの人が当たり前のようにAIを活用していくような社会になることは間違いない。AIを利用していかない限り始まらないのだ。AIを活用することで、初めてAIにできることと人間にしかできないことの違いも分かるだろう。AIを利用することで全てがAIに置き換わるわけではなく、AIと補完的な人間にしかできない部分もおのずから見えてくるはずだ。チャットGTPのように、安易に利用できるAIソフトもある。まずはAIを利用してみることで、社会の変化を感じてみることから始める必要がある。